

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
1	神奈川大学	高大連携事業	横浜市内の県立高等学校及び市立高等学校と高大連携協定を締結し、高校の要望に応じて出張講義、学内施設(図書館・ジム)を利用したインターンシップ等を行っている。	横浜市内の県立高等学校21校及び市立高等学校4校	平成13
2	神奈川大学	地元商店街との連携	商店街主催のナイトフェスタへの課外活動団体の協力及び学園祭(神大フェスタ)への出店	六角橋商店街	—
3	神奈川大学	地元小中学校との連携	学園祭(神大フェスタ)の地域密着企画への参加	六角橋商店街	—
4	神奈川大学	地元小学校での演奏会	地元小学校より依頼を受け、管弦楽団が毎年夏季に演奏会を開催	六角橋商店街	—
5	神奈川大学	共同世論調査	「防災」市民意識調査～あのとさどうしたか、今後どうするのか 無作為抽出(20歳～79歳)の横浜市民1,947名を対象に本学人間科学部・松本ゼミの学生協力のもと調査を実施。有効回答数759件の結果を新聞紙上で発表。	神奈川新聞社	平成22
6	神奈川大学	理学部オープンラボ	実験型授業を体験し最先端の機器に触れてみよう！ 神奈川新聞紙上で物理コース・化学のコース各20名程度の高校生を募集し、湘南ひらつかキャンパスにおいて実験授業およびハイテクリサーチセンター等の施設・実験機器を見学。授業の様子を紙上に掲載。	神奈川新聞社	平成24
7	神奈川大学	学部授業の開設	人間科学部「実践メディア論Ⅰ」(前学期2単位) 人間科学部の正課科目を3社と共同で実施。マス・メディアの情報が社会に発信されるまでの過程を実践的に学ぶとともに、メディアの役割や展望を学び、市民・社会人としてのメディアとの関わりを考える。	神奈川新聞社 テレビ神奈川 共同通信社横浜支局	平成24
8	神奈川大学	公開講座の開設	実践的防災まちづくりコーディネーター養成講座 神奈川地区との連携講座「神奈川区民大学 地域・防災・まちづくり」(2005)の一般参加者を中心に、市民団体「防災塾・だるま」が組織され、2006年より当該講座を継続的に開催。	防災塾・だるま	平成18
9	神奈川大学	NPOインターンシッププログラム	横浜市内のNPOとの連携によるインターンシップ	アクションポート横浜	平成21
10	神奈川大学	NPOインターンシッププログラム	横浜市内のNPOとの連携によるインターンシップ	アクションポート横浜	平成21
11	神奈川大学	神奈川県立図書館との連携	神奈川県立図書館と協定を結び、相互協力を行っています。 学内に所蔵していない資料で、神奈川県立図書館(横浜市西区(川崎図書館を含む))が所蔵している場合は、神奈川大学図書館(平塚図書館)を経由して利用できます。また、神奈川大学図書館から神奈川県立図書館への貸出しを行っている。	神奈川県立図書館(横浜市西区)	平成18
12	神奈川大学	横浜市内大学間学術・教育交流協議会 横浜市内大学図書館コンソーシアム	横浜市内大学図書館コンソーシアムは、「横浜市内大学間学術・教育交流協議会」の会員校によって、学生の教育機会の多様化を図ること、相互に各図書館の特性を生かしつつ協力を、交流を深め、教育・研究活動の推進を図ることを目的として結成されました。原則として加盟大学の学生、教職員は加盟館の館内閲覧利用ができます。	横浜市内大学(14大学)	平成13
13	神奈川大学	学校法人神奈川大学と株式会社りそな銀行との包括的連携協定	取引先企業の紹介から共同研究・受託研究の推進、インターンシップの実施、講演会等への講師派遣と連携	りそな銀行	平成19
14	神奈川大学	包括協定に基づく連携事業(地域経済の活性化と学術研究の進展で協力)	神奈川大学生向けインターンシップの実施	横浜銀行	平成20
15	神奈川大学	「本の架け橋プロジェクト～1冊の本にはたくさんの人たちを感動させる力がある～」	ブックオフから提供された中古書籍をもとに、日本語を学ぶ国内外の子供たちの学習支援及び日本の子供たちとの間の国際交流の実施。	ブックオフコーポレーション株式会社	平成20
16	神奈川大学	横浜弁護士会神奈川大学みなとみらい法律相談所設置に関する協定	みなとみらいにある本学エクステンションセンターにおいて、本学法科大学院における理解と実務の架け橋の実現及び地域密着型法曹養成の理念に基づく教育の充実(リーガルクリニック)を図る。	横浜弁護士会	平成18
17	神奈川大学	地元幼稚園、小学校への学生の派遣	陸上部によるランニング教室	私立捜真幼稚園、横浜市立斉藤小学校、横浜市立南神大寺小学校	—

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
18	神奈川大学	小学校への学生の派遣	水泳部による水泳教室	横浜市立南神大寺小学校	—
19	神奈川大学	大会運営への学生派遣	水泳部による横浜会場での大会運営	スペシャルオリンピックス日本・神奈川	—
20	神奈川大学	地元商店街との連携	男子サッカー部によるお祭りの運営手伝い 男子サッカー部による毎週月曜朝の中山駅周辺のゴミ拾い	中山商店街と合同企画	—
21	神奈川大学	中学生ポジション別練習会	男子サッカー部による横浜市内の中学生チームまたは選手を対象としたサッカー教室の開催	一般社団法人神奈川県サッカー協会より依頼	—
22	神奈川大学	大会運営への学生派遣	男子サッカー部による大会運営補助、審判等	一般社団法人横浜サッカー協会より依頼	—
23	カリタス女子短期大学	高大連携講座	高校生の視野を広げ、進路に対する学習意欲を深める事を目的として、夏休みに集中講座を実施。	神奈川県総合学科高等学校校長会	平成21
24	カリタス女子短期大学	ボランティア活動	キリスト教文化部を中心とする本学学生・教員が、知的障害者支援サークル(通称トウィンクル)に参加。年2回の全体会、月1回のイベント開催(ボーリング、カラオケ、スポーツ)が主な活動内容。	知的障害者支援サークル(トウィンクル)	—
25	カリタス女子短期大学	ボランティア活動	本学の設立母体であるケベック・カリタス修道女会のシスター達が関わっている障害者の地域作業所や食堂の支援。	寿町の地域作業所	—
26	カリタス女子短期大学	パン販売の手伝い	知的障害者の方の施設「愛」で生産されたパンを学内で販売する際のお手伝い。	施設「愛」	平成12
27	カリタス女子短期大学	スポーツデイ	本学の行事の一つである「スポーツデイ」に、ママの健康づくりの為に活動を行う「チームWITH」の親子の方たちにも参加してもらい、本学学生・教職員と一緒にスポーツを楽しもうというもの。	チームWITH	平成23
28	カリタス女子短期大学	子宮頸がん予防講座	横浜市立大学看護学科学生によるピアエデュケーション授業を本学学生が受講。受講学生が、新たなピアエデュケーターとして、子宮頸がん予防の輪を広げていき、発症率低下を目指すというもの。	横浜市立大学看護学科	平成23
29	カリタス女子短期大学	FMサルースラジオ「AOBAくるんキャンパス」	FMサルース・ラジオ「AOBAくるんキャンパス」に毎週交代で青葉区内6大学が出演。各学校の魅力を毎回20分間で紹介。	FMサルース	平成24
30	カリタス女子短期大学	横浜フランス月間	毎年6月～7月にかけて横浜市で開催されるフランス文化の祭典に本学も参加。	横浜日仏学院	平成18
31	関東学院大学	ボラフェスタ in kanagawa	ボラフェスタ in kanagawa 運営実行委員会 ブース出展、イベント司会 他大学交流会実施	神奈川赤十字血液センター(横浜市中区)	不明
32	関東学院大学	平成24年度私立大学戦略的研究基盤形成支援事業「地域との協働による優良中小企業の経営戦略と政策課題に関する実証研究」	文部科学省の競争的資金の採択を受けた平成24年度から26年度までの3年間のプロジェクトで、地域経済を支える中堅・中小企業の問題性とともに新たな経営戦略に関する調査研究を推進し、また中小企業政策の形成に関する研究の推進を本学と社会との連携の重要な柱と位置づけ、学術研究と地域社会への貢献を視野に新たな研究拠点の形成を目指す。	神奈川県・横浜市、横浜商工会議所、中小企業家同友会、神奈川県異業種グループ連絡会等	平成24
33	関東学院大学	実践ビジネスキャリア[神奈川の中小企業]	神奈川県中小企業家同友会による提供講義で、経済学部の学生のためにキャリア教育科目として開設している。	神奈川県中小企業家同友会	平成23
34	関東学院大学	横浜金沢産業連絡協議会との産学連携推進に関する協定	横浜市工業技術支援センターを含め定期的連絡会を開催し、企業のニーズをもとに金沢区内中小企業向けに、横浜市工業技術支援センターとの共催により、「採用手続き説明会」や「経営実践セミナー」を実施している。	横浜金沢産業連絡協議会 横浜市金沢団地協同組合 金沢中央事業会 横浜市工業技術支援センター	平成21

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
35	関東学院大学	関東学院大学カップ	金沢区少年少女ソフトボール連盟に所属する16チームと横須賀支部39チームによる決勝大会	金沢区少年少女ソフトボール連盟	平成23
36	慶應義塾大学	ヒヨシエイジ	地域住民・慶應義塾大学の学生・教員有志がヒヨシエイジ協議会を組織して全体の方針を決定し、学生を中心とするヒヨシエイジ実行委員会が地域活性化イベントの企画・運営を行なう。	日吉地域	平成15
37	慶應義塾大学	桜スポーツフェスタ	下田地区に部専用グラウンドを持つ体育会5部(野球部・蹴球(ラグビー)部・ホッケー部・サッカー(サッカー)部・ソフトテニス部)の部員が中心となり、スポーツを通じ地域住民と交流を深めることを目的に、学生たちが自主的にイベントを企画し運営。市民団体による出し物や会場装飾を地域の小学校や老人会が協力するなど地域と一体となったイベントとなっている	日吉地域	平成20
38	慶應義塾大学	寿拠点「カドベヤ」	コトラボ合同会社と慶應義塾大学により共同で設立。寿地区のさまざまなバックグラウンドをもった人たちが交流することを目指し、からだを動かすこと、そばをかけること、ともに食べることでつながる「動く教室」を開催。	横浜 寿地区、コトラボ合同会社	平成22
39	慶應義塾大学	たかたの音楽会	横浜市港北区高田町内会開催の音楽会で、学生のジャズバンドがゲスト出演、演奏を行った。	港北区高田町	平成24
40	慶應義塾大学	日吉台地下壕	義塾教職員と地域住民が一緒になって、貴重な地下壕を保存するために、1989年4月に「連合艦隊日吉台地下壕の保存をすすめる会」(略称:日吉台地下壕保存の会)を発足。地下壕に関する調査研究や見学会などを実施。	日吉台地下壕保存の会	—
41	慶應義塾大学	日吉キャンパス協生館に横浜市認可保育園	日吉キャンパス協生館に、2009年4月1日、横浜市内の待機児童解消に一役買うために、横浜市認可保育所「ベネッセチャイルドケアセンター日吉」を開園。運営は、(株)ベネッセスタイルケアが行っている。	(株)ベネッセスタイルケア	平成21
42	慶應義塾大学	YOKOHAMA FC・KEIOサッカースクール	体育研究所と横浜FCは、塾生を中心としたスポーツ競技サポートチームの編成を通じ、慶應義塾大学、横浜FC、企業、地域住民それぞれの利潤について調査・研究を行い、これら四者の共同組織を開発することを目的に2006年より提携。その一環として下田グラウンドで子供たちへのサッカースクールを行う。	横浜FC	平成18
43	慶應義塾大学	日吉キャンパス周辺の自然の再生、散策、調査、保護活動。	日吉キャンパスを含む鶴見川流域や、多摩三浦丘陵の広がりを見野に入れた大学・市民連携の活動。1990年代はじめから、日吉キャンパスとその周辺のランドスケープや自然の散策、調査、保護活動などを行っている。	日吉丸の会	—
44	慶應義塾大学	KLL(慶應義塾先端科学技術研究センター)産学連携セミナー	慶應義塾先端科学技術研究センター(KLL)、公益財団法人 横浜企業経営支援財団(IDEC)、公益財団法人 川崎市産業振興財団(IIP)が主催となり、山岳連携セミナーを開催。	公益財団法人 横浜企業経営支援財団(IDEC)	—
45	鶴見大学	鶴見大学杯少年野球大会	野球少年たちに日頃の練習の成果を発揮する機会を提供するとともに、野球を通じて親睦を深め青少年の心身の健全育成を図る。	横浜市鶴見区少年野球連盟	平成24
46	鶴見大学	平成24年度ウィング横浜主催研修専門力向上コース よこはま福祉・保健カレッジ 鶴見大学連携事業	「口からおいしく食べることを支援しよう」研修内容の企画及び講師派遣	ウィング横浜	平成24
47	桐蔭横浜大学	かながわ発・中高生のためのサイエンスフェア	県と県内理工系大学が協働で行う、理工系の魅力を発信するイベント。実演・体験コーナー、理工系大学ブースコーナー、理工系の仕事紹介パネル・県内企業パネル展示等。会場には約2,300名の来場者。本学は実演・体験コーナーにて2つの体験型実験ブース(①アルコールパッチテストほか、②電気メスをを用いたの模擬手術ほか)と大学(説明)ブースを設けた。	神奈川県政策局政策調整部総合政策課政策研究・大学連携センター	平成21
48	桐蔭横浜大学	第15回社会人のための大学フェアinかながわ	専門的・系統的な学習を希望する社会人を対象に、大学や短期大学、大学院を紹介し、学習機会の情報を広く提供するため、県内70大学と神奈川県教育委員会構成する「かながわ大学生涯学習推進協議会」に参加。連携事業「第15回社会人のための大学フェアinかながわ」にて個別質問コーナーでの説明と資料提供を行った。	神奈川県教育委員会県立図書館[神奈川県生涯学習情報センター](横浜市神奈川区)	平成10
49	桐蔭横浜大学	かながわソーラーフェア	太陽光発電に関する一般的な周知を行い、県内における太陽光発電設備の設置に係る新たなニーズの創出を図ることを目的に開催された。開催期間中(2日間)会場には約11,000名の来場者。本学にも出展要請があり、大学院工学研究科にて研究を進めている「次世代のフィルム太陽電池」を展示ブースにて紹介。	神奈川県、かながわソーラーセンター	平成24
50	桐蔭横浜大学	青葉区民まつり2012	18回目を迎えた「青葉区民まつり」。「地域のカ〜心の絆を青葉から〜」をテーマに、自治会・商店会をはじめ約100団体の協力のもと開催した手作りのまつり。ステージ企画や出展ブース、東北支援の販売ブースなどを設けて開催。本学は、学生・職員が運営委員の方々と一緒に「しおがま元気大漁市場(宮城県塩竈市)の販売支援、「伊達とれたて果実市場(福島県伊達市)」の販売支援および会場全体のエコ活動を担当した。	青葉区地域振興課(横浜市青葉区)青葉区民まつり運営委員会	平成7

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
51	桐蔭横浜大学	おもしろ何でもチャレンジ	広報活動および会場提供は横浜市瀬谷区阿久和地区センターが、実験・体験コーナーの運営は桐蔭生涯学習センターが担当する形での協働イベントとして開催。実験・体験型のものを中心に6つのコーナーを設けて来場者にチャレンジしていただいた。阿久和地区センターの近くにある県立松陽高等学校、横浜隼人高等学校の生徒にもスタッフとして協力してもらったなど、地域密着型のイベントとなった。	横浜市瀬谷区阿久和地区センター	平成24
52	桐蔭横浜大学	高文連理科専門部生徒交流会	神奈川県内の高等学校で、県の高等学校文化連盟に加盟している学校の自然科学系クラブの集まりである「神奈川県理科専門部」の生徒(58名)と教員(8名)が来校、研修会を行った。本学教員による講義と、医療現場で利用されている「診断技術」と「治療技術」の体験実習を実施した。	神奈川県理科専門部	—
53	桐蔭横浜大学	第26回あざみ野まつり	26回目を迎えた「あざみ野まつり」。自治会・商店会の方々にて構成された実行委員会のもと模擬店、ステージ企画、東北支援の募金活動などが行われた。本学は、学生・職員が自治会・商店会の方々と一緒に模擬店の運営を行ったり、東日本大震災支援の募金活動や会場内の工口活動を行った。活動を通じて地元の方々との交流も行うことができた。	あざみ野まつり実行委員会	昭和62
54	桐蔭横浜大学	横浜市立元石川小学校「ゆうほう祭り」	横浜市立元石川小学校の恒例行事「ゆうほう祭り」に対し、協力要請を受け、学生・職員が参加した。今年は「餅つき会」を同時開催。「腕相撲コーナー」では来場した子供たちと腕相撲を行い会場を盛り上げた。「餅つきコーナー」では、学生(柔道部、学生会)たちが保護者の方や地元の方々と一緒に餅をつき、来場者などに振る舞われた。	横浜市立元石川小学校	平成9
55	桐蔭横浜大学	青葉台祭り「マルシェ ぶらり〜と in 青葉」	登下校・通勤で利用する青葉台駅を有する「青葉台地区」。この青葉台の街の活性化と東日本大震災の支援をテーマに2011年12月に初めて企画され、2回目の開催となった。今回も同じ目的で多種多様な出展ブース、ステージ企画などを実施。本学も協力要請を受け、前年に引き続き参加。ボランティア同好会Archの学生が出展ブースにて「盲導犬育成支援活動」を展開。募金活動やグッズ販売、PR犬による体験歩行などを実施した。	お祭り「マルシェ ぶらり〜と in 青葉」実行委員会	平成23
56	桐蔭横浜大学	すすき野・荇子田・黒須田・虹ヶ丘地域防災フェア2012	昨年に引き続き会場スタッフとして職員と学生が参加した。企画の補助活動および会場に設けられた福島県伊達市の物産販売ブースにて販売支援活動などを担当した。	すすき野・荇子田・黒須田・虹ヶ丘地域防災フェア実行委員会	平成20
57	桐蔭横浜大学	サイエンスフェスタin東芝科学館	昨年、東芝科学館開館50周年記念として開催された「サイエンスフェスタ」。第2回目となる今年も本学に参加要請があり、昨年に引き続き、簡易なルミノールの化学発光の実験を実施。	東芝科学館	平成23
58	桐蔭横浜大学	青葉台連合自治会(防犯部・交通部・環境部)環境浄化推進会活動	原則として毎月第二火曜日に、田園都市線 青葉台駅前の交番付近に120名前後の行政、学校、商店会、自治会からの参加者が集まり、地域清掃と防犯パトロールを行っている。この活動に参加し、活動を行った。	青葉台連合自治会(防犯部・交通部・環境部)環境浄化推進会	昭和54
59	東京芸術大学大学院映像研究科	横浜市こどもの美術展2012	大学院映像研究科が設置されている横浜市で開催される美術展に協力し、教員がワークショップ、トークイベントに参加した。	横浜市民ギャラリー(公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)	平成24
60	東京芸術大学大学院映像研究科	馬車道まつり「トワイライトコンサート」藝大プラス	音楽学部の協力を得て、地元馬車道商店街の馬車道まつりの一環として例年実施している市民向けプラスバンドコンサートを開催した。	馬車道商店街協同組合、横浜市文化観光局、関内ホール	平成20
61	フェリス女学院大学	日本語の個人指導	正課外で、留学生が日本語の個人指導を受けている。	NPO法人 留学生と語り合う会	平成17
62	フェリス女学院大学	地域国際交流事業	RCA国際交流トークサロンのスピーカーとして留学生を推薦。RCA主催の行事(イヤーエンドパーティや横浜港の花火見物など)に留学生が参加し、日本文化を体験するなど、地域住民との国際交流を図っている。	緑園都市コミュニティ協会(RCA)	平成20
63	フェリス女学院大学	南万騎が原賃貸マンションプロジェクト	女性対象の賃貸マンションの設計を、専門家の指導を受けながら女子学生の視点から行う産学連携の取組み。	相鉄不動産株式会社	平成24
64	フェリス女学院大学	After You (お先にどうぞ) ~挨拶と歩行マナーキャンペーン~	最寄り駅周辺は学生で混雑するため、地域のみならずと気持ちよく行き交うことができるよう、緑園都市コミュニティ協会(RCA)の方と共に歩道に立ち、毎学期始めの毎朝一週間、通学路の交通整理を連携して取組んでいる。	緑園都市コミュニティ協会(RCA)	平成18
65	フェリス女学院大学	RCA年末一斉清掃	まちの一員として、日頃利用している通学・通勤・生活路の一斉清掃に本学学生と職員が参加している。	緑園連合自治会・緑園都市コミュニティ協会(RCA)	平成17
66	フェリス女学院大学	横浜インターンシップ制度	仲介して頂いた企業へ、学生が夏季休暇を利用してインターンシップに参加している。前後に、横浜商工会議所主催の事業説明会、報告会に参加し、商工会議所及び出席企業と意見交換し、各種報告を行っている。	横浜商工会議所	平成16

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
67	フェリス女学院大学	神奈川県環境インターンシップ	仲介して頂いた企業へ、学生が夏季休暇を利用してインターンシップに参加している。終了後に、神奈川県主催の報告会に参加し、神奈川県及び出席企業と意見交換し、各種報告を行っている。	神奈川県	平成17
68	フェリス女学院大学	ホッチポッチミュージックフェスティバル	NPO法人アークシップとも連携し、コレットマール会場を学生による企画運営出演で創り上げた。	OPEN YOKOHAMA実行委員会 横浜市文化観光局	平成23
69	フェリス女学院大学	国際機関実務体験プログラム	横浜市国際交流協会を中心とした横浜市内の国際機関の協力により、学生が大学での学びだけでなく100時間の実務体験を通して国際的視野と資質を培う、国際的人材育成を目指す。春、夏の二期実施。両者が学生と共に成果や課題を話し合う三者面談や最終報告会の他、随時連絡しあう。	横浜市国際交流協会、JICA横浜、 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	平成19
70	フェリス女学院大学	NPOインターンシッププログラム	横浜市内で活動する多様なNPOや社会的企業を学生が直接知り、「インターン」としての活動を通して、市民として未来の横浜や地域を支えつつしていく人材育成を目指す。短期50時間の集中プログラムと、長期のプログラム。大学と団体との連絡、団体から講師を招いての講習会、中期研修会、修了式まで連携しあう。	アクションポート横浜、 横浜NGO連絡会、WE21ジャパン、 こども未来ファンド、アークシップ、フェアスタート、	平成20
71	フェリス女学院大学	緑園新春コンサート	近隣の高齢者自立支援NPOとの連携により、地域を中心とする高齢者、保育園児、近隣の障がい者通所施設、地域の音楽家、音楽愛好家の方々と学生が、協働して、毎年1月第二土曜日に、地域連携コンサートを実施している。近隣保育園の園児は年長組になると出演することになっている。	NPO法人「だんだんの樹」	平成15
72	フェリス女学院大学	「放課後ふれあい学習サポート」	近隣小学校での放課後学習支援ボランティアへの学生派遣。小学校の校長や担当教員との連絡相談により実施。小学校から保護者には子どもの参加申込書が配布され、学校内で、学生チューターチームが週二回個別学習支援を行っている。	緑園東小学校	平成16
73	フェリス女学院大学	アシスタントティーチャープログラム	近隣中学校の校長からの要請によるアシスタントティーチャー派遣。希望する学生を紹介し、中学校での校長面接を経て、活動内容を確定している。フィードバックを受けるなどの連携を行っている。	上白根中学校	平成24
74	フェリス女学院大学	寿地区への生活支援物資収集送付と、現場ボランティア	中区寿地区でのバザーに、清潔なタオル、石鹸、男物衣類、簡易カイロなど生活物資を集めて送付し、バザーボランティア体験や、焼き出し等の活動に参加。年2回の寿青年ゼミ参加学生への情報提供。寿地区での活動の経験により、地域の中での貧困や福祉の現状を学び、「他者」の存在への気づきから、「人権」尊重の社会構築への視点を獲得している。適宜、フィールドワークガイド、説明などを受ける。	寿地区センター	平成15
75	フェリス女学院大学	多文化共生フィールドワークプログラム	学生が、特に多民族多文化共生にかかわる機関、NPOや教育現場などの活動現場や事務所、学校現場を訪問し、取り組むべき課題や事業の説明を受け、質疑応答、意見交換を行い、現状を考察するフィールドワーク。	神奈川県外国人すまじサポートセンター 横浜中華学校 あーすプラザ	平成15
76	フェリス女学院大学	ハートフルフレンド	不登校の子ども達の直接支援をするボランティア募集と助言、応募支援。	横浜市教育総合相談センター	平成15
77	フェリス女学院大学	外国籍住民日本語学習支援活動	近隣NPOなどの実施する外国籍住民コミュニティでの日本語学習支援ボランティアの紹介とフィールドワーク。	NPO法人「多文化まちづくり工房」	平成16
78	フェリス女学院大学	女性自立支援協力	女性・子ども用衣料品、雑貨の送付や、関連NPOでの学生ボランティアにより、女性自立支援バザーや国際協力支援。	NPO法人WE21ジャパン	平成19
79	フェリス女学院大学	エコキャップ収集によるNPO支援	全学でペットボトルキャップを収集し、エコキャップ推進協会を通して、JCV(NPO法人世界のこどもにワクチを 日本委員会)の働きに協力。	NPO法人 エコキャップ推進協会 (ECOCAP)、 JCV (NPO法人世界のこどもにワクチを 日本委員会)	平成20
80	フェリス女学院大学	ふれあい軽スポーツ大会	泉区で毎年6月に実施される障がい者ふれあい軽スポーツ大会への、学生アナウンサーとボランティア派遣協力。	横浜市泉区社会福祉協議会	平成20
81	フェリス女学院大学	知的障がい者通所施設との連携	学生対象に、「ひかりの園」での昼休みピアノ演奏ボランティアや夏祭りイベントでのボランティア学内募集を行い、毎年大学祭には、施設利用者の方お手製のクッキーをボランティアセンターで来室者に販売している。	NPO法人くるみ会「ひかりの園」	平成16
82	フェリス女学院大学	サマースクールプログラム@横浜	JICA横浜、ナビオス横浜、教会施設などの協力を得ながら、夏の5泊6日、福島県の子ども達を横浜に招く短期保養プログラムを実施し、ボランティア学生が子ども達とともに、学び遊ぶことで子ども達の健康増進を図る。	JICA横浜、横浜NGO連絡会、ナビオス横浜、 横浜国際バプテスト教会	平成23

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
83	横浜国立大学	市民活動を体験して考える協働型まちづくりプロジェクトV	横浜市内NPOへのインターンへの学生参加	NPO法人 アクションポート横浜	平成20
84	横浜国立大学	横国エコキャンパスプロジェクト	環境意識の啓発	NPO法人 横浜シティガイド協会	平成21
85	横浜国立大学	松原商店街バザール創造プロジェクト	商店街の活性化	洪福寺松原商店街振興組合	平成21
86	横浜国立大学	和田べんプロジェクト	商店街の活性化	和田町タウンマネジメント協議会	平成19
87	横浜国立大学	ワダヨコ	商店街の活性化	和田町タウンマネジメント協議会、和田町商店街、和田西部町内会	平成22
88	横浜国立大学	公共空間デザインプロジェクト	商店街の活性化	和田町商店街協同組合、和田西部町内会	平成23
89	横浜国立大学	横浜地産地消推進プロジェクトⅢ	横浜市内の地産地消の推進	JA横浜	平成22
90	横浜国立大学	左近山地域の未来をつくるプロジェクト	住宅地の持続化・活性化	左近山団地7・8・9街区自治体、コミュニケーションフェあんさんぶる、市沢団地自治会	平成22
91	横浜国立大学	モビリティデザインの実践	交通システムと地域計画の提案	横浜新都市交通株式会社	平成22
92	横浜国立大学	地域交流コア科目「地域連携と都市再生A」	横浜市内の地域課題に関する講義	NPO法人プランナーズネットワーク	平成17
93	横浜市立大学	寄附講座	横浜銀行グループによる「銀行講座」	株式会社横浜銀行	平成18
94	横浜市立大学	寄附講座	横浜信用金庫寄附講座「融資判断のための企業分析」	横浜信用金庫	平成18
95	横浜市立大学	寄附講座	産業事情～ファッション・ビジネス戦略 I	財団法人ファッション産業人材育成機構	平成18
96	横浜市立大学	寄附講座	財団法人起業家支援財団・KNBC寄附講座「起業経営論」	財団法人起業家支援財団 一般社団法人神奈川ニュービジネス協議会	平成22
97	横浜市立大学	寄附講座	財務省・財務局・財務事務局(横浜)の業務と役割	関東財務局	平成24
98	横浜市立大学	連携特別講座	特別講座(連携特別講座「新世紀の国際協力事業」)	JICA横浜	平成18
99	横浜市立大学	理研・市大合同一般公開	隣接する理化学研究所と市大が合同で行う1年に1度の施設の一般公開。普段は見られない研究施設や実験機器等の公開や体験型の実験・講演会などを実施。周辺地域の小中学校や公的施設への周知及び参加呼びかけ等の取組を行っている。	理化学研究所 横浜研究所 鶴見区及び周辺区の公的施設や小中学校など	平成13

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
100	横浜市立大学	つみ臨海フェスティバル	年1回行われる鶴見区市民フェスティバルの一つ。理研・市大合同ブースにて参加。開催場所は鶴見区の入船公園。毎年多くの地域自治体に参加している。	理化学研究所 横浜研究所 鶴見区 実行委員会	平成21
101	横浜市立大学	理研・市大合同クリーンキャンペーン	鶴見まちづくり推進会議が提唱し、鶴見区民・企業・行政が一体となり、「明るくきれいな鶴見区」をつくるためのクリーンアップキャンペーンで理研・市大合同で大学前から鶴見小野駅間の市道の掃除及びドングリ拾いのボランティア。ドングリは高知県土佐郡大川村のどんぐり銀行へ寄与されている。	理化学研究所 横浜研究所 鶴見区 社団法人大川村ふるさとむら公社	平成21
102	横浜市立大学	大学まちづくりコンソーシアム横浜	5大学による連携組織として設立された「大学まちづくりコンソーシアム横浜」で横浜の都心臨海部・インナーハーバーに関する研究を実施するほか、郊外部も含めたまちづくりの検討なども行っています。	大学まちづくりコンソーシアム 神奈川大学 関東学院大学 横浜国立大学 東京大学	平成21
103	横浜市立大学	学生が取り組む地域貢献活動支援事業	地域が抱える課題を実践的に研究・解決する学生による地域貢献に資する活動を、学内公募し、優秀な企画・活動・提案・プロジェクトに対して助成金を交付するものです。	初黄・日ノ出町環境浄化推進協議会 （「Kogane-Xコガネックス」） 中区	平成23
104	横浜市立大学	教員地域貢献活動支援事業	地域社会が抱える諸問題を地域課題として提案していただき、本学の事業予算により、本学の教員及び地域貢献センターと共同で調査、研究、社会実験等の活動を通じて課題解決を目指す事業です。	(株)八千代エンジニアリング 東京湾-金沢八景アマモ場再生会議	平成23
105	横浜市立大学	エクステンション講座「漢方と疾患シリーズ」10講座	市民向け講座の共同開催	株式会社ツムラ	平成21
106	横浜市立大学	エクステンション講座 市民医療講座「尊瘡ケアにおける医療連携」	市民向け講座の共同開催	ウイリング横浜	平成23
107	横浜市立大学	エクステンション講座 市民医療講座「小児・女性の炎症性腸疾患」 市民医療講座「困っていませんか？子どもの看病」 2講座	市民向け講座の共同開催	アートフォーラムあざみ野	平成23
108	横浜市立大学	エクステンション講座 中学生・高校生対象講座「まちづくりのいろは講座」	市民向け講座の共同開催	かながわ子どもの地域社会参画推進会議 （事務局/NPO 法人ミニシティ・プラス）、 YCC スクール	平成24
109	横浜市立大学	エクステンション講座 「やさしい脳腫瘍のはなしー脳腫瘍克服のためにー」	市民向け講座の共同開催	日本脳腫瘍の外科学会	平成24
110	横浜市立大学	エクステンション講座 『お散歩マップ』の作成と活用 ～子育ての視点で暮らしている地域を見直そう！～	市民向け講座の共同開催	NPO 法人家庭的保育全国連絡協議会	平成24
111	横浜市立大学	エクステンション講座 「うつ病について知ろう」	市民向け講座の共同開催	瀬谷区高齢・障害支援課 横浜市こころの健康相談センター	平成24
112	横浜市立大学	エクステンション講座 サイエンスカフェ「アレルギーになりやすい体質ってなんだろう？」	市民向け講座の共同開催	理化学研究所	平成24
113	横浜市立大学	エクステンション講座 「①気になる食中毒②話題のワクチン」	市民向け講座の共同開催	神奈川感染症医学会	平成24
114	横浜市立大学	戸塚区新総合庁舎の屋上農園の運営支援	平成25年3月に開設する戸塚区新総合庁舎の屋上農園運営ボランティア育成講座の共催（講師派遣）や栽培作物の提案、種苗の提供。	環境創造局南部農政事務所	平成23
115	横浜市立大学	横浜商工会議所 インターンシップ	夏季休業期間中に市内企業におけるインターンシップ実習の実施	横浜商工会議所	平成16
116	横浜市立大学	国際機関実務体験プログラム（夏・春）	夏季、春季休業期間中に国際機関での実務体験の実施	公益財団法人 横浜市国際交流協会 （YOKE）	平成18

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
117	横浜市立大学	横浜市経済局誘致推進課、横浜企業経営支援財団 (IDEC)	本学と3者間の連携により、横浜市内企業での本学留学生向けのインターンシップ・プログラムの実施	横浜市経済局誘致推進課、横浜企業経営支援財団 (IDEC)	平成24
118	横浜市立大学	神奈川県庁 環境インターンシップ	夏季休業期間中に、環境に関する取組を積極的に行っている企業等においてインターンシップ実習の実施	神奈川県庁	平成16
119	横浜市立大学	横浜市立大学整形外科病診連携懇話会	附属病院と地域の診療所との間で患者の紹介を円滑に行い、医療連携を促進させるための取組	近隣の整形外科診療所	平成20
120	横浜市立大学	ルート16病診連携セミナー	附属病院と地域の診療所との間で患者の紹介を円滑に行い、医療連携を促進させるための取組	近隣の循環器内科系診療所	不明
121	横浜市立大学	横浜HIVカンファレンス	神奈川県内のHIV、エイズ治療の普及を目的に各拠点病院等に対して技術支援を行う取組	神奈川県内のエイズ治療拠点病院等	平成18
122	横浜市立大学	神奈川県HIV/AIDS医療従事者研究会	神奈川県内のHIV、エイズ治療の普及を目的に各拠点病院等に対して技術支援を行う取組	神奈川県内のエイズ治療拠点病院等	平成21
123	横浜市立大学	神奈川HIVフォーラム	神奈川県内のHIV、エイズ治療の普及を目的に各拠点病院等に対して技術支援を行う取組	神奈川県内のエイズ治療拠点病院等	平成21
124	横浜市立大学	高速冷凍技術の医療応用への可能性検討調査開発委員会	横浜市内の企業が有し、現在主に食品業界で用いられている凍結技術が医療の分野で利用可能か、どのようにすれば利用できるのか検討する。	特定非営利活動法人ECML2103-3587-1333	平成24
125	横浜市立大学	地域医療連携研修会	地域の医療従事者(開業又は勤務している、医師・歯科医師・薬剤師・看護師等)を対象として、当院における臨床研究の成果を踏まえ、医療知識の普及を図り、また研修・研鑽の場を提供することにより、地域医療に貢献することを目的とした取組	7区医師会(磯子区、金沢区、港南区、栄区、中区、西区、南区) 南区薬剤師会 製薬会社等	平成19
126	横浜市立大学	市民公開講座 賢い病院のかかり方～地域医療の仕組み～	市民の皆様は、病気にかかった際に適切な医療機関を選択して受診できるよう、知識を提供する。	横浜市医師会	平成24
127	横浜市立大学	中学生職業体験・職業インタビュー	中学生が病院で働く人たちの姿に触れ、職業に対する興味・関心や職業に対する理解を深める機会を提供する取組	横浜市内の中学校	平成18
128	横浜創英大学	霧が丘グリーンタウン団地及びその周辺地域の活性化等の推進に係る連携協定に基づく出前講座の開催	霧が丘連合自治会、UR都市機構神奈川地域支社及び本学で締結をした連携協定に基づき、「健康福祉」「子育て支援」「防災」等の地域課題に対応した情報提供を行うもの。	霧が丘連合自治会、UR都市機構神奈川地域支社	平成23
129	横浜美術大学	地域連携	学生による環境メンテナンスチームを創設、施設内の装飾を行う。	社会福祉法人創生会創生園青葉	平成23
130	横浜美術大学	地域連携	学生による似顔描き、施設内装飾を行う	社会福祉法人賛育会清風園	平成22
131	横浜美術大学	地域連携	リサイクル工作、絵画教室での学生ボランティア	鴨志田緑小学校はまっ子ふれあいスクール	平成24
132	横浜美術大学	地域連携	SLOWLABEL THE FACTORY2 スローファブリック工場の職人展において学生がワークショップ等で協力	綾ワコールアートセンタースローレーベル事務局	平成24
133	横浜美術大学	地域連携	作品展示	メディカルホーム くらら青葉台	平成24

■24年度 市内大学の社会貢献に関する調査

NO	大学名	連携事業名	具体的な連携取組の内容	連携先	事業開始年度
134	横浜美術大学	地域連携	青葉祭り マルシェふらり〜とin青葉 において、学生有志が参加。	青葉台商店会(横浜市青葉区)	平成24
135	横浜薬科大学	神奈川新聞社花火大会	本学在学生在がボランティア活動として車椅子招待者らのお世話をした。	神奈川新聞社	平成21
136	横浜薬科大学	薬物乱用防止啓発イベント	第1回「薬物乱用防止キャンペーン」IN 横濱(7. 1〜9. 30)	薬物乱用防止キャンペーン実行委員会 (社団法人 横浜市薬剤師会)	平成24
137	横浜薬科大学	「戸塚ふれあい区民まつり」「文化祭」	協賛	戸塚区民まつり実行委員会	平成23
138	横浜薬科大学	子ども薬剤師体験セミナー (子どもアドベンチャー2012)	学校では学ぶことのできない「本物に触れる」体験・学習活動の場を提供する。	横浜市教育委員会、横浜市薬剤師会	平成23
139	横浜薬科大学	かながわ親子健康セミナー2012	子を持つ親や、教育関係者向けの講座	神奈川新聞社	平成21
140	横浜薬科大学	市民公開講座(冷えによる痛みー腰痛・肩こり・関節痛を漢方で治すー)	市民向けの講座の開催	横浜市健康福祉局(後援)	平成23
141	横浜薬科大学	出張市民講座(漢方と薬膳)	市民向けの講座の共同開催	薬膳健康づくり研究会	平成22
142	横浜薬科大学	出張市民講座(薬の服用、豆知識)	市民向けの講座の共同開催	戸塚区大正地区センター	平成20
143	横浜薬科大学	第67回かながわ駅伝競争大会	特別協賛	神奈川新聞社	平成20
144	横浜薬科大学	私学・私塾フェア2012	神奈川・東京私立中学校進学相談会	かながわ民間教育協会	平成24
145	横浜薬科大学	大学進学フェスタ2012	大学進学相談会	中萬学院	平成22